

§ 5.7 不等式の証明

問題 5.7.1 正の実数の全体 $(0, \infty)$ を定義域とする関数 f を $f(x) = \frac{4}{x^2} - (3-x)$ ($x > 0$) と定める. $f'(x) = -\frac{8}{x^3} + 1 = \frac{x^3 - 8}{x^3}$. $0 < x < 2$ のとき, $x^3 < 2^3 = 8$ なので $f'(x) = \frac{x^3 - 8}{x^3} < 0$. $x > 2$ のとき, $x^3 > 2^3 = 8$ なので $f'(x) = \frac{x^3 - 8}{x^3} > 0$. 従って, 関数 f は, 区間 $(0, 2]$ において単調減少であり, 区間 $[2, \infty)$ において単調増加である. よって, f の最小値は $f(2) = 0$. 故に, 任意の正の実数 x について, $f(x) \geq 0$ つまり $\frac{4}{x^2} - (3-x) > 0$ なので, $\frac{4}{x^2} \geq 3-x$.

問題 5.7.2 正の実数の全体 $(0, \infty)$ を定義域とする関数 f を $f(x) = ex - 2 - \ln x$ ($x > 0$) と定める. $f'(x) = e - \frac{1}{x}$ ($x > 0$). $f'(x) = 0$ とすると, $e - \frac{1}{x} = 0$, $x = \frac{1}{e}$. $0 < x < \frac{1}{e}$ のとき, $\frac{1}{x} > e$ なので $f'(x) = e - \frac{1}{x} < 0$. $x > \frac{1}{e}$ のとき, $\frac{1}{x} < e$ なので $f'(x) = e - \frac{1}{x} > 0$. 従って関数 f は $\frac{1}{e}$ において最小値 $f\left(\frac{1}{e}\right) = 0$ をとる. 故に, 任意の正の実数 x について, $f(x) \geq 0$ つまり $ex - 2 - \ln x \geq 0$ なので, $\ln x \leq ex - 2$.